



【エス・ディー・ジー・ズ】

SDGs 17の目標

「社業を通じて社会に奉仕する」を基に事業展開しているアイセロは、購買から販売、商品開発、工場運営に至るまでコンプライアンスを念頭に置き、お客様、社会、環境への配慮を続けてきました。これらの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)に通じています。SDGs「17の目標」に、アイセロの事業活動がどのように関連しているのか「これまでの取り組みと今後期待されること」をまとめました。

SDGs「17の目標」の各目標を解説

各目標のアイコン

SDGs「17の目標」に関連している
・アイセロの考え方
・アイセロの取り組み
・今後、アイセロがすべきこと

持続可能な農業をすることで、 すべての人々が生きるのに十分な食事が摂れるようにする

2 飢餓を
ゼロに



食品包装用シーラントフィルムの「中身
を無駄にしないグレード」、水溶性フィル
ムの「農業包装」など、食品ロス防止や
農業の発展に寄与する商品開発が、今後
も期待されます。原材料、消耗品など調
達品は、農産物の生産に悪影響を及ぼし
ていないかなどの配慮を継続します。

誰もが平等に質の高い教育を受けられる

4 質の高い教育を
みんなに



アイセロには、外国語習得、各種資格取
得など「学習への支援制度」や、社員が企
画に平等に応募し、参加できる「社内応
募制度」があります。
また、地域の教育活動にも参加していま
す。SDGsに関する発信も、アイセロの社
会的責任を認識する教育の一環です。

安全な水と衛生的な環境を管理する

6 安全な水とトイレ
を世界中に



工場内の水の設備や配管を見直し、循
環利用にも取り組み、劇的に水の使用
量を削減しました。河川流入と下水利
用への排水経路を明確に分け、河川流
入する排水にはごみの混入を防ぐ対策
もしています。

世界からあらゆる貧困をなくす

1 貧困を
なくそう



アイセロはこれまで90年余りの長きに
わたり、日本を中心に事業活動を継続
してきました。また、開発途上国に拠
点を設け、地域の人々と共に発展して
きました。グローバル事業の継続は、
それ自体が目標達成への活動です。

みんなが健康でいられる、 そして、福祉サービスが受けられる

3 すべての人に
健康と福祉を



製品では、クリーン製品が医薬品の製造や
医療機器の発展に寄与しています。工場
では、適切に化学物質を管理し、社会への悪
影響を排除しています。
健康経営を推進し、また、安全衛生活動で
安全と衛生意識を高め、社員とその家族の
健康を重視し続けます。

性別による差別をなくそう

5 ジェンダー平等を
実現しよう



女性の活躍促進に向けた取り組みが評
価されて「あいち女性輝きカンパニー」
として愛知県から認証を受けました。
また、ハラスメント対策や従業員の健康
状態に配慮した労働環境整備も継続し
ています。

すべての人が手ごろな価格で安定的な発電による 近代的なエネルギーを使える

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



太陽光発電設備を導入、再エネ電気の
購入で持続可能なエネルギーの拡大に
積極的に取り組んでいます。事務機器
から生産設備に至るまで省エネを考慮
し、導入しています。照明のLED化、
低公害車の活用も継続していきます。

経済成長を進め、 すべての人が働きがいのある仕事を持つ

8 働きがいも
経済成長も



アイセロでは、スマート工場化を推進し、
生産性の向上を図っています。加えて、
明確な雇用条件の共有、労災を防ぐ労働
環境の整備、人事考課制度の維持、高齢
者・障がい者雇用の推進などのすべてが、
働きがいのある職場づくりへの活動で
す。

国と国、同じ国の中での不平等を減らす

10 人や国の不平等
をなくそう



社是の一つ「全社一体」。お互いの力量
を知り、理解し、協力して目標に向かう
精神は、全世界のアイセログループ社員
同士の尊重に繋がっています。公正公平
な人事考課制度のさらなる改善や、高齢
者・障がい者雇用を拡大します。

責任を持って生産し、責任を持って消費する

12 つくる責任
つかう責任



原料ロス削減、リサイクル、廃棄物排出目
標ゼロ、使用済製品回収再商品化、バイオ
マスを利用した商品の開発に取り組んで
きました。これからも、3R+R推進、品質
を保証した製品の提供で、循環型社会の
形成に貢献していきます。

海や海の 資源を守る

14 海の豊かさを
守ろう



河川流入と下水利用への排水経路を明確
に分けています。原料やプラスチックご
みが河川に流れ込まないような対策とそ
の強化に取り組みます。河川の清掃活動
にも積極的に参加。アイセロ製品が海を
汚さないよう、リサイクル可能なクリー
ン製品、防錆フィルム、生分解性のある水
溶性フィルムのような製品開発を継続し
ています。

全ての人が司法で守られた安心・安全な社会をつくる

16 平和と公正を
すべての人に



企業は、汚職や贈賄（ぞうわい）をし
ないことが法で定められており、アイ
セロ社員には当然の心得です。行動指
針には「誠実な行動と健全な社会行動」
がうたわれています。法令遵守と社会と
の健全で透明な関係を維持し続けます。

持続可能な産業の発展のための技術革新

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



電子デバイスや自動車の発展に、クリー
ン製品や防錆フィルムを創造し、貢献
しています。生産では、世の中の最新
技術を積極的に導入し、品質と生産性
の持続的向上を図り、また、研究開発
を重視する精神を大切にしていきます。

安全で、災害に強いまちをつくる

11 住み続けられる
まちづくりを



防災対策、万が一の危機対応準備に真摯
に取り組んでいます。廃棄物排出目標ゼ
ロへの活動は約 30 年以上の歴史があり
ます。これからも化学物質管理・削減、
公害防止、地域の環境整備活動への参加
など、安全で住み続けられるまちづく
りに貢献していきます。

気候変動やその影響を減らすために、急いで行動する

13 気候変動に
具体的な対策を



省資源の取り組み、再エネ活用・省エネ活動、
輸送効率化、社用車の低公害車への切り替え、
敷地緑化、バイオ PE 商品開発などの取り組み
で二酸化炭素排出量を削減してきました。製
品での貢献も視野に入れ、2050年CNに向けて、
2030 年までの削減ロードマップに沿った活動
を継続します。自然災害に備えた事業継続計
画も、この目標達成への取り組みの一つです。

陸や森林の生態系を守り、再生する

15 陸の豊かさも
守ろう



「森の資源を守る」と認証された原材料の
使用や紙の削減、木材パレットを他の素
材に切り替えるなど、様々な活動に取り
組んできました。今後もグリーン調達を
基本とした製品を生産し、工場建屋、設備
においては周りの環境(動植物)に配慮し
て、事業活動を行っています。

世界中の人々が連携し、協力する

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



アイセログループの行動指針には「取
引先との互惠関係」がうたわれていま
す。アイセロは、国内外の取引先との信
頼関係を構築し、相互の発展を図って
おり、国際的な交流・連携に取り組ん
でいます。